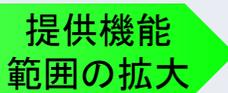
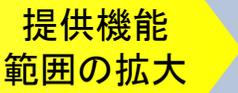


# 衛星データ利用促進プラットフォーム整備の流れ(例)

技術的な観点から、レイヤ毎の整備規模について整理

		整備の規模 		
ユーザサービス レイヤ	基本機能	横断検索機能	横断検索範囲の拡大、 基本処理機能の提供	提供機能 範囲の拡大 
	共通サービス レイヤ	基本ツールキット群	横断検索に必要な ツールキット群	横断検索に加え 基本処理機能等に 必要なツールキット群 提供機能 範囲の拡大 
	拡張ツールキット群	規約定義		拡張ツールキットの実装 
データ レイヤ	オリジナルデータ(*)	(データ保有機関に分散)	サービスに 必要なデータ	サービスに応じて データの拡大 
	PF提供用データ(**)		サービスに必要なデータ	サービスに応じて データの拡大 
	カタログ用データ	限定された 衛星/センサ		サービスに応じて対応する 衛星/センサを拡大 

- PFの機能の具体化にあたっては、官民の役割分担の在り方を含めて検討する必要がある。
- PFとして想定すべき機能は、横断検索機能、基本的な処理機能(例えば、閲覧画像のフォーマット変換、簡易オルソ化、地図との重ね合わせなどを可能とする画像表示)、一定のデータ処理のための計算リソース提供機能、多種・大量のデータの処理を行う解析基盤とのインタフェース機能、民間事業者との連携のためのインタフェース機能などが想定される。機能や保有するデータ等についてクラウドコンピューティング機能の利用方法を検討。

(\*) データの処理レベルは今後検討。

(\*\*) PF提供用データとは、解像度を落としたデータ、画像化したデータなどが想定される。